

ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN WEEKLY REPORT

2016-2017

名古屋名南ロータリークラブ

■ 承認 / 1991年3月8日 ■ 例会日 / 火曜日・PM6:30 ■ 例会場 / 名古屋マリオットアソシアホテル
■ 会長 / 木下 福郎 ■ 幹事 / 細井 俊男 ■ 会報・雑誌・広報委員長 / 木村 猛
■ 事務局 / 〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル2202号
TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054



人類に
奉仕する
ロータリー

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail info@meinan-rotary.com 2016-17年度 国際ロータリー会長 ジョン F. ジャーム

ガバナー補佐訪問

第1188回

2016年8月9日(火) 晴 第6回

～ 会員増強・新クラブ結成推進月間～

斉唱	我等の生業
出席	会員 55名 (出席率算入人数 43名) 出席 35名 出席率 81.40% 前々回補填率 95.65% (7月26日分)
ゲスト	R.I. 第2760地区 西名古屋分区ガバナー補佐 深谷 友尋さん 地区副幹事 松原 広幸さん 地区スタッフ 花市 佳明さん 西名古屋分区幹事 岩佐 信機さん 西名古屋分区副幹事 長瀬 廣幸さん 長瀬 廣幸さん ビジター 神戸 RC 中村 淳さん

会長あいさつ

会長 木下 福郎さん

昨日、ロータリー財団セミナーに、三浦委員長と一緒に出席させていただきました。深谷ガバナー補佐も出席されてみえました。そこで印象に残った事を少しお話させていただきます。



江崎パストガバナーからお話があったのですが、日本のRCは、ロータリー財団に非常に貢献しているという風に使われているが、実はそうではないのだと。年次寄付で言うと、全世界の7%で、アメリカは28%寄付しているそうです。人口が半分ですので、倍にしても14%でアメリカの半分にも満たない状況で、やはりもっともっと積極的に年次寄付に協力して欲しいとの事です。

それと、今年ロータリー財団は100周年にあたりますので、毎年150ドルを寄付して欲しいというお願いですが、今年はさらに30ドル上乗せして180ドル寄付して欲しいというご依頼がありました。それに対して、それは今年だけなのか、来年も180ドルなのかというご質問がありました。それに対して、ガバナーエレクトの神野さんが、「今年だけです。」と、はっきりおっしゃられました。

幹事報告

幹事 細井 俊男さん

1. 出席袋に新しい予算書が入っておりますので、各自クラブ計画書の方に貼り付けておいてください。
2. ロータリー財団委員会よりポリオ撲滅についての資料を配布しましたので、ご一読いただき、よくご理解の上、11月に財団委員会月間がございますので、その時にご寄付の方もよろしくお願い致します。
3. 8月16日(火)は休会です。
4. 8月24日(水)は、例会変更でガバナー公式訪問です。12時半より16階アゼリアで行われます。23日(火)の例会はございませんので、お間違いないよう、よろしくお願い致します。

ニコボックス

◆ 深谷ガバナー補佐、松原地区副幹事、花市地区スタッフ、岩佐分区幹事、長瀬分区副幹事より過分に頂戴いたしました。

◆ 深谷ガバナー補佐をお迎えして。

中西 芳子さん 加藤 英敏さん 猪村 美之さん
伊藤 圭一さん 白藤 憲雄さん 日下智重子さん
山本 郁矢さん 武藤 正行さん 小野 雅之さん
有川 英敏さん 長尾 浅吉さん 川辺 清次さん
中村 勝さん 三浦 和人さん 三浦 隆さん
細井 俊男さん 入谷 直行さん 吉木 邦男さん
森田敏二三さん 三島多恵子さん 犬飼りさ枝さん
江松 央統さん 坂田 信子さん 高橋 司さん
鈴木 一博さん 下村 徹嗣さん 出田真太郎さん
新原 尚さん 箕 惠理さん 大橋さなえさん
木下 福郎さん 朝比美和子さん 佐々木 暢さん
杉山 隆秀さん 本多 利郎さん

本日合計 82,000円 累計 345,500円

アンチエイジングエクササイズ

中村 勝さん

ガバナー補佐訪問

西名古屋分区ガバナー補佐 深谷 友尋さん
今日、私が参りましたのは、あくまでもガバナー公式訪問の事前準備の為です。国際ロータリーと服

部ガバナーのメッセージボーイですので、どうぞよろしくお願い致します。名南RCさんには川辺さんがお見えでございますが、私と一緒にロータリー財団の青少年に関する委員会を作りまして、当時の奨学委員会の委員長をお務めいただきました。今年度4名の奨学生をヨーロッパ、イギリス、アメリカへと派遣致しました。それから、1名平和フェローを出しました。彼もいよいよ来週から旅立ちます。



皆さまご存知の通り、2016-17年度のRI会長のジョン F.ジャーム会長のメッセージは「人類に奉仕するロータリー」というタイトルをお付けになられ、3つの目標を掲げられました。1つは、クラブのサポート、そして強化。2つ目は、人道奉仕の重点化と、増加。3つ目に、公共イメージと認知度の向上です。なぜ、クラブのサポートと強化が一番先に来ているかですが、これは珍しい目標です。やはり全世界の各クラブの自主性の上に立って新しい奉仕活動をして欲しい。その為に国際ロータリーがいかに力を与える事が出来るのかという事を、ジョン F.ジャーム会長は考えた訳でございます。人道的奉仕の重点化というのは、本年度はロータリー財団100周年の年であります。重点の一番の目標は、ポリオ撲滅です。この100周年を機に、来年度アトランタで行われます国際大会で、撲滅宣言をしたいという強い熱意がございます。そして、公共イメージと認知度の向上という事で、昨今IT化が非常に進んでおり、Facebook、Twitter等々のメディアが若い方の中で取り入れられております。

強調事項は、奉仕の率先遂行と、ポリオ撲滅の最終章、そしてロータリーブランドの認知度と実行という事を掲げられてスタートしました。

服部ガバナーは、「真のロータリーになろう。ロータリーを見つめよう。」というのをテーマに掲げられました。ロータリーのミッションは、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、倫理観と高潔さを失わない。人々に奉仕をし、世界理解、親善平和を推進する事であると述べられております。そのメッセージを伝えるミッションは、5つの項目から成っており、1つは、親睦です。貴クラブにおかれましても、特に親睦という事には力を注がれて、クラブ会員の方が少しでも楽しく、有意義な事がしたいというお話を承りました。そして、ロータリーの高潔性です。そして、世の中非常にグローバルな社会の中で、多様性が問われます。そして、ロータリアンであるリーダーシップを発揮して、奉仕活動に専念していただきたいという事が5つの中核的価値観、強みであると会長はお話されております。

今年度の地区の最重点課題をもう一度お話ししますと、地区のこれからのビジョンですが、10年後も20年後も地域に輝きが持続するプログラムを作っていきたい。服部年度だけに終わるのではなく、次の年度にもこの思想を伝え、そして、ロータリーが永遠に不滅の活動ができるような、そんな地域にしていきたいというのが、服部ガバナーのお考えです。

その中の1つが、ソーシャルメディアの活用とオンラインツールの活用です。服部ガバナーは、この

2つだけはしっかりやっていただきたいという事でございます。昨日のロータリー財団セミナーでも私が申し上げましたが、マイロータリーの登録です。これに登録するメリットですが、まず、ご自身のロータリー歴が全て載っております。今まで行ってきた貢献額が全て載っておりますし、そこから波及する国際ロータリーの全てのニュース、情報が入っております。マイロータリーがきちっとプログラム化されたお陰で、非常に国際ロータリーの軌跡を見ていく事ができる。また、皆さまの目で国際ロータリーを具に批判したり、意見を言ったりする事もできるプログラムでございます。従いまして、これに登録しますと、ロータリアン同士の意思疎通にも繋がる事ができます。マイロータリーは、ロータリアンでないと登録できません。また、クラブセントラルの使い方ですが、これはクラブに1つございます。マイロータリーは個人的な情報で、クラブセントラルは、名古屋名南RCさんの軌跡が全て載っております。名南RCさんが行っている社会奉仕事業、人道的プログラム、教育的プログラムが載っております。ですから、今度はクラブ間のアイデアを共有する事ができます。例えば、国際奉仕がやりたいけど分からない場合、このクラブセントラルから入っていくと、他クラブの成功例が出てくるので、そのアイデアを実践する事も可能です。これからの時代、ぜひご活用をしていただきたいと思っております。

ガバナー賞でございますが、会員数純増3%です。名南RCさんの今年度の目標は、純増2名でございます。もし2名が達成できますと、ガバナー賞に当たりますので、ぜひご挑戦をお願いします。

今年度のガバナーは、米山記念奨学事業に大変ご熱心です。1人平均20,000円以上の寄付、また、特別寄付率の80%以上をご貢献なさいますと、クラブ賞。どちらか1つで結構です。ガバナー賞が授与されますので、どうか大いにご挑戦ください。

それから、地区からもう1つお願いですが、今年はロータリー財団100周年です。この本は、ロータリー財団100周年の記念事業に合わせた本で、ポール・ハリス氏がスタートしてから今日までの記録が載っております。ロータリーは、2度潰れかけたと書いてあります。でも、それを救ったのは、高邁な理想のロータリアンの皆さまの力と、正しいプログラムを遂行したお陰と書いてあります。ぜひお求めいただいて、ご愛読いただくと大変嬉しく思います。

地区大会でございますが、2016年11月5日（土）、6日（日）と、ウェスティンナゴヤキャスルで開かれます。ホストは小牧RCさんです。今、2,600名を集めるという目標を掲げてスタートされまして、昨日も臨時のガバナー会議がありまして、この数に到達していないので、なんとかガバナー補佐訪問した時にご参加いただけるようお願いするように言われております。ぜひ、更なるご登録をお願い致します。

それから、今年度の世界大会は、2017年6月10日にアトランタで行われます。今年、日本のロータリーの国際ロータリー理事として、豊田RCの斎藤直美パストガバナーがご就任されて、今ご活躍中でございます。日本人朝食会というのが、6月10日朝7時から行われます。また、ガバナーナイトを夜6時から行いますので、ぜひ、お出掛けをいただきたいと思っております。

それから、これは私からのお願いですが、西名古屋区分は2年間インターシティミーティングを行っておりませんでした。今年8月分は全てやって欲しいとのガバナー方針でしたので、その意を汲みまして、2017年3月24日、5時から東急ホテルで行うことに決めさせていただきました。只今、ホストの名古屋みなとRCさんが中心になって鋭意準備をしております。400名を目標人数としております。従来ですと、理事会役員の方、3年未満の方にお越しくささいというのが慣例でしたが、私は自由参加にして、もっと多くの方に参加していただきたいし、奥方や女性会員の方にも来ていただいて、楽しめるような卓話者を考えております。枠に囚われないで、皆さまと楽しいひと時を過ごしたいと思っております。恐縮ですが、登録料は15,000円を予定しております。

また、ロータリー財団100周年の記念事業を、特に西名古屋区分で何かやって欲しいという要望がございました。皆さまもお話をし、ポリオ撲滅チャリティーゴルフ大会を愛知カントリーを貸し切り、160名の参加を目標として、西名古屋区分の会員の皆さま、ご家族の皆さまも呼んでいただきたい。そして、これを増強のチャンスとして友人の方々をぜひ誘って参加いただきたいと思っております。プレー代はご自身でご精算していただきますが、丁度この日はシニアデーで、65歳以上の方は格安なプレー代でお楽しみいただけると思っています。登録料は10,000円で、その内5,000円をチャリティーとさせていただきます。これは、ポリオプラスにチャリティーをさせていただきますので、奮ってご参加をお願い致します。

また、10月22日(土)、23日(日)、ロータリーデーの第4回目のワールドフードふれあいフェスタが開かれます。女性陣に大変人気のあるプログラムでございますので、私も毎年、孫と嫁と参加しております。楽しいひと時を過ごしております。今回も盛り沢山のプログラムを作っておりますので、どうぞチケットのご購入をしていただきたいのと、舞台の横筋や、各立て看板に載せる企業広告もお願いしたいと思っております。

さて、残りの時間にポリオの事をお話したいと思います。皆さまは、ポリオの事はよくご存知だと思いますが、日本の方がこのポリオの活動の礎を作られたという事は、あまり知られていないと思っております。1979年9月にフィリピンで全世界ポリオ撲滅活動の第一歩がスタートしました。この時に経口ワクチンの投与が始まりました。歴史的な取り組みも、国境や世代を越えたロータリアンの連携、他団体との活動やパートナーが、世界のポリオ撲滅の推進活動の一番元をお作りになった訳です。もう間も無く2ヶ国40数人足らずのポリオ患者でして、発症している野生株も今は鳴りを潜めています。しかしながら予断は許さない訳でして、いつ何時これが拡大していくかも分かりませんので、今年が最後の年度でございます。その礎を作られた方は、東京麹町RCに席を置かれていました、山田ツネさんと峰英二さんの2人の方です。特に今日は、山田ツネさんの事を少しご紹介したいと思っております。山田ツネさんは、1924年にお生まれになられ、東京大学法学部を卒業され、英語とフランス語が非常に堪能な方だったそうです。富士ゼロックスに入社され、アジア極

東の総責任者を歴任され、1968年にご自身のコンサルティング会社を設立されました。そして、バンコクRCに入会されます。1970年に帰国し、東京麹町RCに再入会されます。非常にボランティアに長けた方であると同時に、語学力がございまして、そういう点では、皆からも推挙され、1978年に国際ロータリーの世界社会フォーラムのスペシャルコーディネーターをお勤めになられました。そして、1982年にインドの麻疹の免疫プログラムのプロジェクトに参加されました。ボランティアとして、南インドにて1ヶ月の奉仕活動に従事して帰国され、クラブと地域のRIにおけるポリオ撲滅の大きな礎を作られた訳です。この生業ですが、1982年に3Hプログラム、昔は保健機構の活動をする事を3Hプログラムと言っていたのですが、麻疹の免疫プログラムの指導の為に、南インドに行かれた訳ですが、夕暮れにホテルに戻ろうとしたら、道路の隅でクモのようなものが動いてきて、見るとクモではなく、ポリオに罹った少年であった事を目の当たりにされました。山田ツネさんはその少年をクモのようだと思った自分の恥を痛感され、何度も何度もその自分の愚かさを涙を流して語られたそうです。その事がきっかけとなり、子供達のために今後一人でもポリオを出さないと心に誓い、東京麹町RCを中心として、2750地区の皆に働きかけ、ポリオ活動を推進させました。ところが残念な事に、この活動の成功を見る前に、山田ツネさんは流行病に現地で罹り、フィリピンで療養しましたが、帰らぬ人になってしまいます。また、その後を追うようにして峰英二さんもまた流行病に罹り、現地でお亡くなりになるという事がございました。皆さまは、山田ツネさんを通して、どのようにお思いになるのでしょうか。ロータリアン1人の力が、これだけ大きな世界を動かし、素晴らしい成果を納めるというのは、高邁な理想を持ち、ロータリアンお一人お一人が奮い立ち、子供たちの平和を願い、活動を続ける事が我々の使命ではないでしょうか。私は、山田ツネさんの思いを胸に、これからも一人一人に働きかけ、多くの力を皆さまと一緒に共有しながら、このポリオ撲滅活動、そして世界の平和を進めて参りたいと思っております。

拙い話でしたが、真のロータリアンである事をここに私も願い、終わらせていただきます。ありがとうございました。



第1190回例会(8月30日)のご案内
名古屋熱田RAC合同例会